

1. 本時の指導

(1) ねらい

日本人の根底にある武士道の精神が非常時に目覚め、命がけで行動した人がいることを学び、自分の中にあるかもしれない武士道の精神を呼び覚ます。

(2) 指導要領に基づく道徳の内容

4-(2) 公德心および社会連帯の自覚を高めよりよい社会の実現に努める。

(3) 展開

学習活動と主な発問	教師の支援
<p>1 「誓いの詞」を唱和する</p> <p>2 前時、新渡戸稲造「武士道」の復習</p> <p>3 サムライは今の時代にはいないのだろうか?</p>	<ul style="list-style-type: none"> 生徒が品性向上に向かっていくことを念じながら 前時の生徒感想まとめプリントを配布する 読み上げてコメントする
<p>展開① 現代のサムライたち</p> <p>4 あるお地蔵さんの由来 昭和 22 年長崎県、坂の途中で故障したバスが崖から転落寸前、身を挺して止めて亡くなった若い車掌さんの話。</p> <p>5 自衛隊機墜落 平成 11 年埼玉県、機体故障で墜落する自衛隊機を操縦していたパイロットが、脱出を遅らせて住宅地を回避し、自らは亡くなった話。</p> <p>6 東日本大震災救援の看護師 平成 23 年 3 月岩手県陸前高田市、医療支援にあたった若い看護師さんが、夢中で任務にあたる話。</p>	<ul style="list-style-type: none"> レジメプリント配布 パワーポイント ON 臨場感のある話をする プリントに書き込みさせながら ときどき問い掛ける
<p>展開② 命とはどんなものか</p> <p>7 「命とは君たちが持っている時間である」 100 歳をすぎても現役医師である日野原重明さんの言葉をプリントで読む。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 一つしかない命をどう使うかを考えさせる 人のために役に立つ使い方をすることが大切にすることにつながる 捨てることがよいというわけではない
8 感想記入	

2.参考資料① 配布プリント

「武士道」と命を考える

1. あるお地蔵さんの由来

長崎県時津町打坂にあるお地蔵さんがつくられたわけは
昭和 22(1947)年 9 月 1 日に起きたピンチの物語

2. 自衛隊機墜落で 80 万世帯が一時停電

平成 11(1999)年 11 月 22 日、航空自衛隊のジェット練習機が墜落、パイロット 2 名が死亡
新聞には載らなかった真実とは

3. 東日本大震災の救援にあたったカンゴンさんのお話

平成 23(2011)年 3 月 16 日、災害対策支援医療チームの一員として岩手県陸前高田市に入った看護師さん
の報告

- 16 日、10 数か所の避難所を回って血圧測定数百人
- 17 日、救護所兼病院のヘルプ、高速バス再開
- 18 日、赤ちゃん誕生、夜電気がついた
- 19 日、仮設住宅の建設開始。携帯電話つながる。夜は満月
- 20 日、重機到着して瓦礫除去開始。生存者治療のため同行
- 21 日、三陸の病院のヘルプ
- 22 日、避難所に足湯をつくってもらう
- 23 日、避難所の人々とお別れ

4. 「命とは君たちが持っている時間である」日野原重明

100 歳を超えても現役のお医者さんが、私たちに伝えたいこととは

5. 今日の感想を書いてください。

3.参考資料②

「命とは君たちが持っている時間である」日野原重明（聖路加国際病院名誉院長）

僕はいま人生において最も大切だと思うことを、次の世代の人に伝えていく活動を続けているんです。僕の話
を聞いた若い人たちが何かを感じ取ってくれて、僕たちの頭を乗り越えて前進してくれたらいいなど。(中略)

小学校に出向いて、10 歳の子どもを相手に 45 分間の授業をやっています。僕が一貫してテーマとしているの
は命の尊さです。難しい問題だからなかなか分からないけれどもね。でも「自分が生きていると思っている人は
手を挙げてごらん」と言ったら、全員が挙げるんです。「では命はどこにあるの」って質問すると、心臓に手を当
てて「ここにいます」と答える子がいます。僕は聴診器を渡して隣同士で心臓の音を聞いてもらって、このよ
うに話を続けるんです。

「心臓は確かに大切な臓器だけれども、これは頭や手足に血液を送るポンプであり、命ではない。命とは感じる
もので、目には見えないんだ。君たちね。目には見えないけれども大切なものを考えてごらん。空気見えるの？
酸素は？ 風が見えるの？ でもその空気があるから僕たちは生きている。このように本当に大切なものは目に

は見えないんだよ」と。

それから僕が言うのは「命はなぜ目に見えないか。それは命とは君たちが持っている時間だからなんだよ。死んでしまったら自分で使える時間もなくなってしまう。どうか一度しかない自分の時間、命をどのように使うかしっかり考えながら生きていってほしい。さらに言えば、その命を今度は自分以外の何かのために使うことを学んでほしい」ということです。

僕の授業を聞いた小学生からある時、手紙が届きましてね。そこには「寿命という大きな空間の中に、自分の瞬間瞬間をどう入れるかが私たちの仕事ですね」と書かれていた。10歳の子どもというのは、もう大人なんですよ。あらゆることをピーンと感じる感性を持っているんです。

4.生徒の感想

- ・「武士道」に書かれているような心をもっている人が日本にいることはすばらしい。
- ・人々には知らされていないけど、隠れたところに思いやりがあって感動した。
- ・ひとつめの自分の命にかえてでも乗客を守ってすごいと思った。
- ・自分の命をかけて、他の人の命を守ろうとする心はとてもすごいと思った。
- ・自衛隊の人の話が特にいいなと思いました。自分たちの命をかけて他の人たちのことを考えていたのはすごいことだと思いました。
- ・死ぬ間際に、誰かのためを思えるのはすごい。
- ・使命をもつのは大切なことだと思った。
- ・多くの人が自分のためでなく人のために生きていることを知って、私もそんな生き方ができるかはまだ少し分らないけど、人の幸福を自分にとっての幸福と感じられるような人になれたらいいなと思いました。
- ・カンゴンさんのお話が印象的でした。看護師はカッコ良いと思いました。
- ・自分にそんなに大きなことができるかどうかは分からないけれど、この世界を少しでもよくできるようにこの命を使っていきたい。
- ・日野原さんの「本当に大切なものは目に見えない」というのがよく分かった。
- ・102歳でも他人のために何かしようと考えるのがすばらしいと思った。
- ・人のために働くって本当にすばらしいことだと思いました。私も人のためになれるような人になれるといいなと思いました。
- ・命を大事にしようと思いました。悔いの残らない人生を送りたいです。
- ・命が一番大切なものだけれど、それを人のために使えるような人間になりたい。
- ・人を救うために自分の命を使うことはすばらしいと思うけど、そうしたいとは思いません。
- ・他の人のために自分の命を捧げるとするのは、ソクラテスの「よく生きること」ではないかと思った。
- ・自分ができることを一生懸命やることって本当にすばらしいなと思いました。
- ・誰かのために生きるのもいいな。
- ・みんな、自分ではない誰かのために一生懸命だった。こんな大人になれるように、今は頑張って勉強したい。
- ・自分を犠牲にして人のために働いた人が大勢いたということを知って驚いた。私も死にたくはないけど人のためになれるような人になりたい。
- ・他の人のために、時には命を犠牲にしてまで行動できるのは、本当にすごいです。今できることを考えて毎日生活したいです。
- ・私も生まれもった使命を考え、大切にしながらこの方たちのように偉大なことには及ばないかもしれないが、少しでも人の役に立ちたいと思った。
- ・自分もこの限りある命を人のために使いたいと思った。
- ・将来の自分が今の生き方を後悔しないように生きたい。
- ・今日聞いた人たちのような、他人のために必死になれる人に少しでも近づきたいと思った。